



作・絵 やまぐち ちひろ 山口 千尋

## はじめに

•この本は、発達に特徴のある子供たちがクラスの中で友達<sup>なか</sup>の理解<sup>りかい</sup>を得ながら、

安心して<sup>あんしん</sup>過ごす<sup>す</sup>ような環境<sup>かんきょう</sup>を整<sup>ととの</sup>えるために<sup>つく</sup>作りました。

•一人でも多くの困<sup>ひと</sup>っている子供<sup>お</sup>の過<sup>こ</sup>ごす環境<sup>かんきょう</sup>が良<sup>よ</sup>くなることを願<sup>ねが</sup>っています。

•みんなが居心地<sup>いごこち</sup>の良い教室<sup>よ</sup>ってどんな教室<sup>きょうしつ</sup>かを一緒<sup>いっしょ</sup>に考<sup>かんが</sup>えてもらえるように、

子供<sup>こども</sup>たちに問<sup>と</sup>いかけながら読<sup>よ</sup>んでください。

•タイトルは「とくべつしえん<sup>きょうしつ</sup>教室<sup>きょうしつ</sup>ってどんなところ？」となっていますが、

「〇〇ってどんなところ？」と、それぞれの場<sup>ばしょ</sup>所に置<sup>お</sup>き換<sup>か</sup>えて使<sup>つか</sup>っていただ

ければ幸<sup>さいわ</sup>いです。

•子供<sup>こども</sup>たちみんなの個性<sup>こせい</sup>が認<sup>みと</sup>められ、安<sup>あんしん</sup>心して過<sup>す</sup>ごせる場<sup>ばしょ</sup>所<sup>ひろ</sup>が広がることを

願<sup>ねが</sup>っています。

# もんだい

いきなり<sup>もんだい</sup>問題!

いま<sup>え</sup>から<sup>えが</sup>絵を描いてみよう。

① りんご

② <sup>はな</sup>花

③ ちょっと

④ ちゃんと

①	②
③	④

がんばって描いたね。

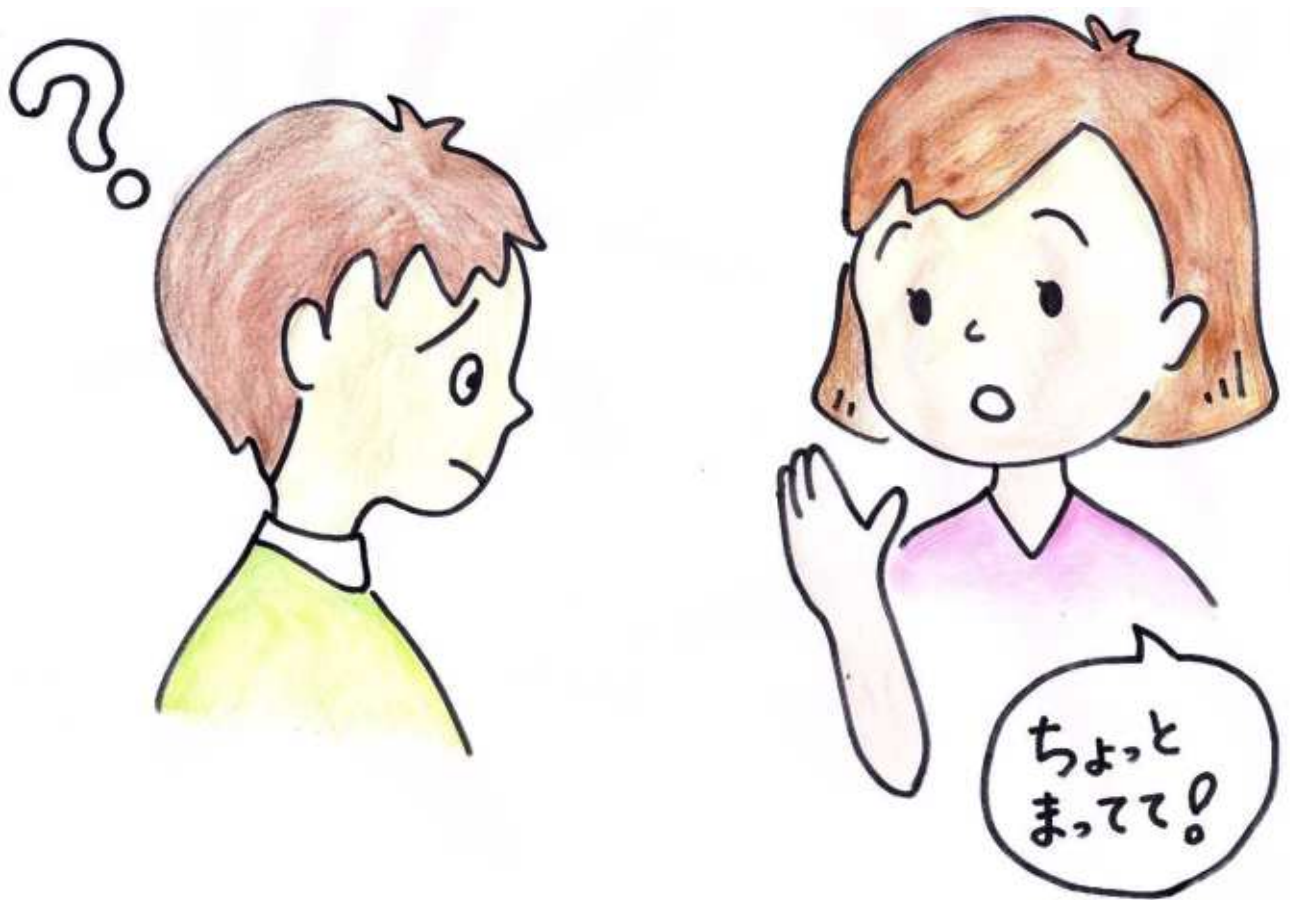
かたち ことば ひょうげん むずか  
形のない言葉表現するのはなかなか難しいよね。

いま で こども わたし で あ こども  
今から出てくる子供たちは、私が出会った子供たちです。

はなしほんとう はなし  
どのお話も本当にあったお話です。

いっしょ なや かんが  
一緒に悩んだり考えたりしてもらえると嬉しいです。





「ちょっとまって。」ってどれくらいまでばいいの？

1分？ 2分？ それとも5分？

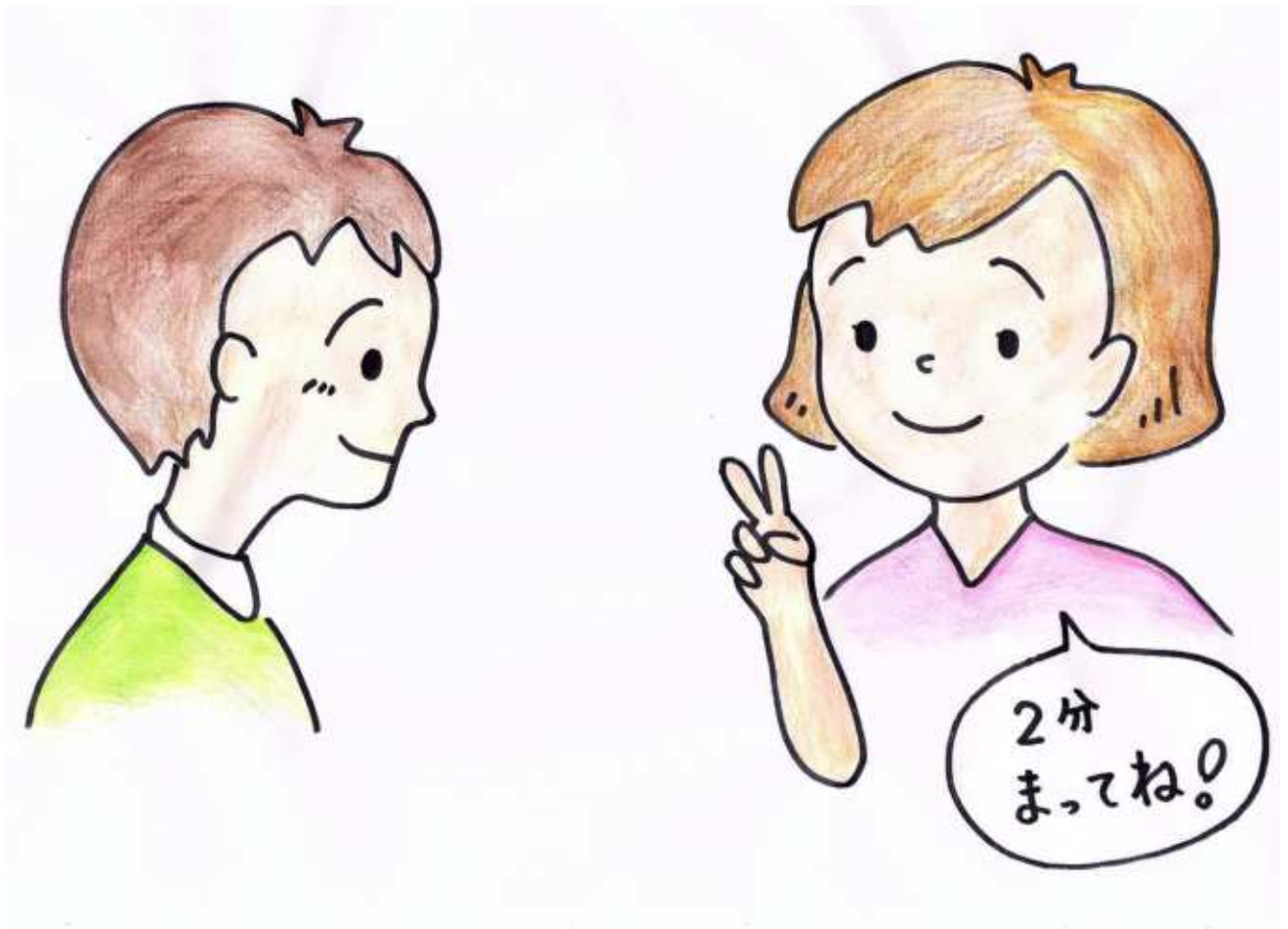
「ちょっと。」の長さが毎回違うから、困っちゃう。

「ちゃんとそうじしなさい。」ってどうすればいいの？

「ちょっと。」や「ちゃんと。」の意味がよく分からないよ。

あいまいな言葉だと何を言われているのか分からなくて困っちゃうんだ。

どうすればいいんだろう。



「<sup>ふん</sup>2分まってね。」

「ぬらしてしぼった雑巾で机の上をふいてね。」

なに  
何をすればいいかはっきり言ってもらうと分かりやすいんだ。

ぼく い とお まよ  
僕、言われた通りのことなら迷わずできるから!

みんなあ まえ  
みんな当たり前前まえにやっていることでも、実はすごく難むずかしくて困こまっているよ。

み め こま わ  
見た目だけじゃ困こまってるって分わからないんだけどね。

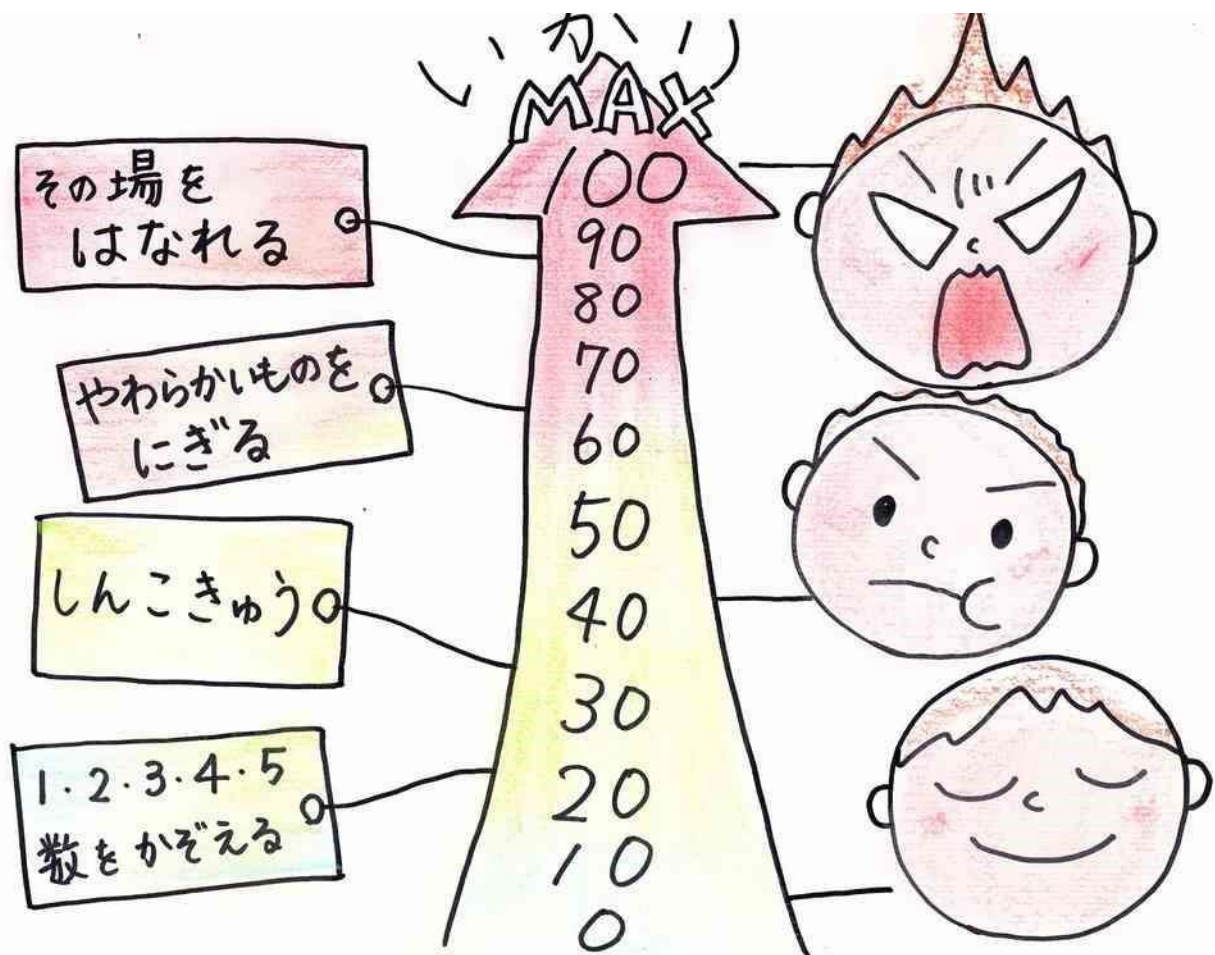


すぐにキレてしまう。

カーっとなって自分<sup>じぶん</sup>が自分<sup>じぶん</sup>じゃなくなるんだ。

もうこうなったら誰<sup>だれ</sup>も僕<sup>ぼく</sup>と<sup>と</sup>止められない。

自分<sup>じぶん</sup>でも嫌<sup>いや</sup>になるんだけど、どうしたらいい<sup>おも</sup>と思う？



いか <sup>め み かたち あらわ</sup>  
怒りを目に見える形に表してみたよ。

いか <sup>わ</sup> <sup>いか じぶん</sup> <sup>れんしゅう</sup>  
怒りのレベル分けをして、怒りを自分でコントロールする練習をしたよ。

いか <sup>かず</sup> <sup>お</sup>  
怒り20くらいだと、数をかぞえると落ちつけるんだ。

いか <sup>ば</sup> <sup>き</sup>  
怒り90くらいになると、その場をはなれることに決めたんだ。

まえ <sup>すく</sup>  
前よりキレることが少なくなってきたよ。





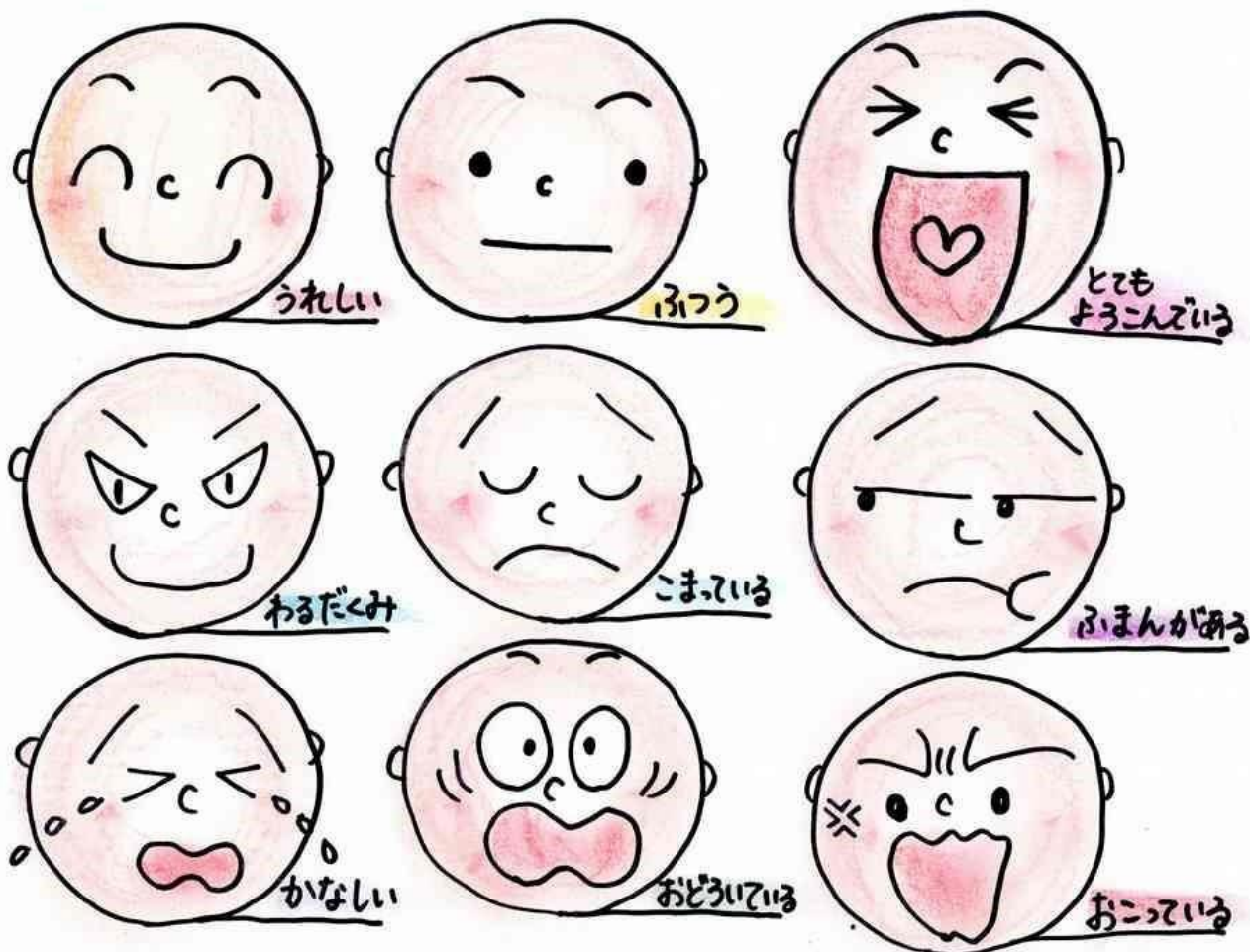
ひと かお み ひと おこ わら  
人の顔を見ても、その人が怒っているのか笑っているのか、

よくわ  
よく分からないんだ。

み かんたん わ  
みんなは見ただけで簡単に分かるみたいなんだけど、

ぼく むずか  
僕には難しい。

あいて きも わ  
どうやったら相手の気持ちが分かるようになるんだろう。



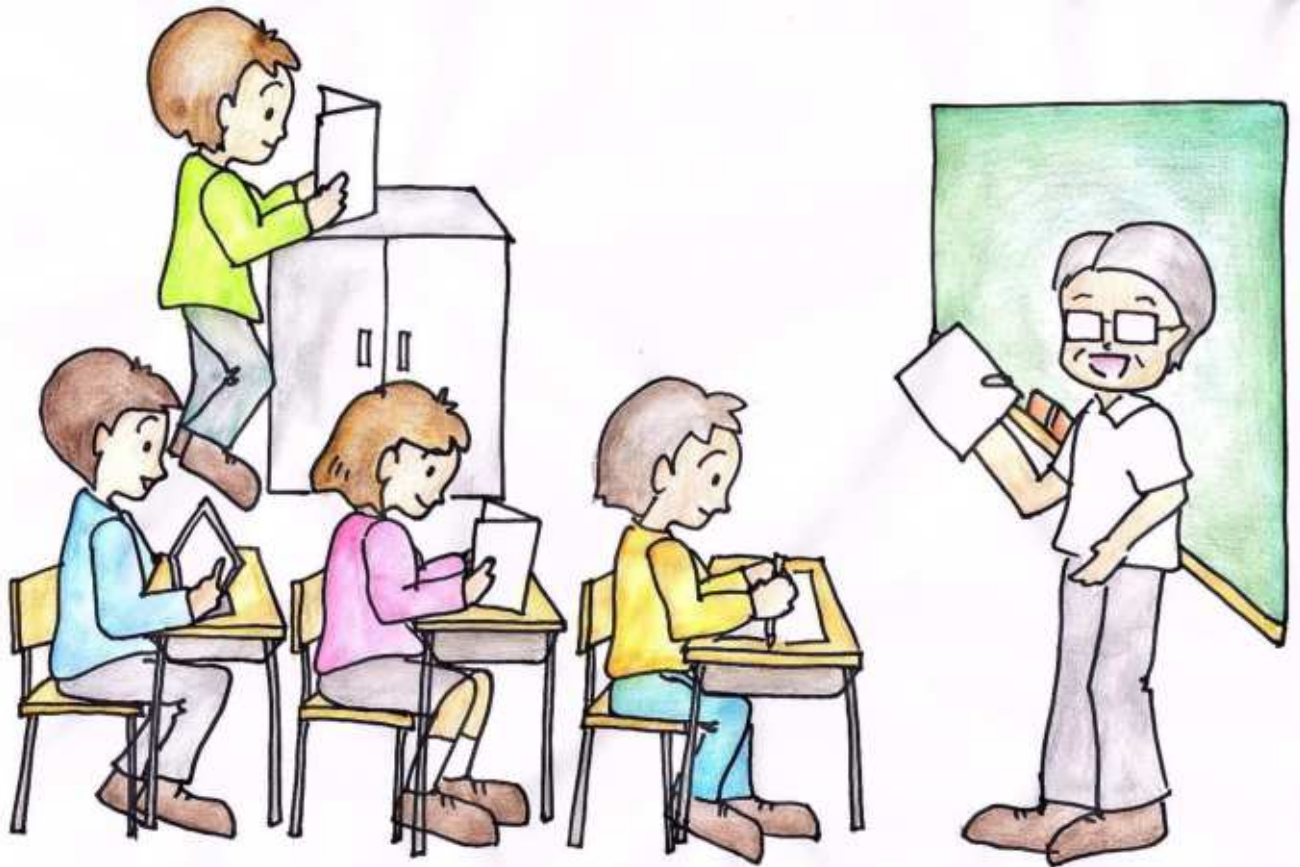
ひと ひょうじょう えが き も おぼ  
 人の表情をいっぱい描いて気持ちを覚えたよ。

ひょうじょう つく けいじばん は  
 表情ポスターを作って掲示板に貼ってみたよ。

ぼく ひょうじょう よ と にがて ひと やく た  
 僕みたいに表情を読み取るのが苦手な人の役に立つとうれしいな。

じかん まえ き も わ  
 まだ時間はかかるけど前より気持ちが分かるようになってきたよ。

おぼ じしん  
 がんばっていっぱい覚えたことが、自信になったよ。



た べんきょう わる  
立って勉強するのは悪いこと？

じゅぎょうちゅう め わる ひと めがね  
授業中に目が悪い人が眼鏡をかけるのはいいの？

じゅぎょうちゅう さむ うわぎ き  
授業中に寒くなったら上着を着るのはいいの？

じゅぎょうちゅう  
授業中にどうしてもトイレに行きたいときは行ってもいいの？

た ほう しゅうちゅう ひと た べんきょう  
じゃあ立っている方が集中できる人が立ったまま勉強するのはいいの？



「<sup>た</sup>立<sup>ぐ</sup>ち<sup>し</sup>食<sup>い</sup>い<sup>そば</sup>」って知ってる？

そう、立<sup>た</sup>った<sup>た</sup>ま<sup>そば</sup>ま<sup>や</sup>食<sup>えき</sup>べるお蕎<sup>そば</sup>麦<sup>や</sup>屋<sup>えき</sup>さん、駅<sup>えき</sup>とかにあるよね。

「<sup>し</sup>スタン<sup>し</sup>ディング<sup>し</sup>ミー<sup>し</sup>ティング」って知ってる？

立<sup>た</sup>った<sup>はな</sup>ま<sup>あ</sup>ま<sup>かいぎ</sup>話<sup>かいぎ</sup>し<sup>かいぎ</sup>合<sup>かいぎ</sup>う<sup>かいぎ</sup>会<sup>かいぎ</sup>議<sup>かいぎ</sup>だよ。

眠<sup>ね</sup>気<sup>むけ</sup>がと<sup>のう</sup>ん<sup>か</sup>だ<sup>っ</sup>り、脳<sup>のう</sup>が活<sup>か</sup>発<sup>っ</sup>に働<sup>はたら</sup>き<sup>ざん</sup>斬<sup>しん</sup>新<sup>しん</sup>な<sup>で</sup>アイ<sup>で</sup>ディア<sup>で</sup>が出<sup>で</sup>たり<sup>で</sup>し<sup>で</sup>やす<sup>で</sup>いの。

「<sup>た</sup>立<sup>つく</sup>ち<sup>え</sup>机<sup>し</sup>」って知ってる？

立<sup>た</sup>った<sup>べん</sup>ま<sup>き</sup>ま<sup>き</sup>勉<sup>べん</sup>強<sup>き</sup>で<sup>つく</sup>きる<sup>え</sup>机<sup>え</sup>が<sup>う</sup>売<sup>う</sup>っ<sup>う</sup>て<sup>う</sup>い<sup>う</sup>る<sup>う</sup>ん<sup>う</sup>だ<sup>う</sup>よ。

が<sup>が</sup>っ<sup>が</sup>こ<sup>が</sup>う<sup>が</sup> ま<sup>ま</sup>な<sup>ま</sup>い<sup>い</sup>  
学<sup>ま</sup>校<sup>な</sup>は<sup>い</sup>学<sup>い</sup>び<sup>い</sup>に<sup>い</sup>行<sup>い</sup>く<sup>い</sup>と<sup>い</sup>こ<sup>い</sup>ろ。

立<sup>た</sup>っ<sup>た</sup>て<sup>た</sup>い<sup>た</sup>る<sup>た</sup>方<sup>た</sup>が<sup>た</sup>学<sup>た</sup>び<sup>た</sup>やす<sup>た</sup>い<sup>た</sup>人<sup>た</sup>は、立<sup>た</sup>っ<sup>た</sup>て<sup>た</sup>勉<sup>た</sup>強<sup>た</sup>す<sup>た</sup>る<sup>た</sup>こ<sup>た</sup>も<sup>た</sup>認<sup>た</sup>め<sup>た</sup>て<sup>た</sup>ね。



たまに、おもしろ半分で僕の真似をされて傷つくことがあるんだ。

僕はまじめにやっているのに、どうしてもできなくて困っているんだよ。

「みんなちがって みんないい」って言うでしょ？

これって、人を傷つけてもいいってわけではないんだ。

これって、思いやりと想像力がすごく大事なんだ。

食物アレルギーの子はその子に合わせた給食を食べているでしょ。

学び方に特徴がある子が、その子に合わせた学び方をしても、

変な目で見られないような教室になるといいなと思っているよ。



「いい姿勢」ってどんな姿勢？

人から見ているいい姿勢？ 自分が心地いい姿勢？

多く人は、「グー・ペタ・ピン」の姿勢が座りやすいよね。

体のためにも「グー・ペタ・ピン」の姿勢はいいらしいよ。

でも、どうしても長く続けられない人もいるんだって。

椅子に深く座るとお尻のあたりがムズムズして気が散っちゃうから、

椅子に浅く腰かけて話を聞く方がいいんだって。

腰には悪い姿勢だけど、どうしても困っていたら、こんな座り方も認めてね。



「バランスボールのはずむ感覚が集中しやすくくていいの。」

「立っていると頭がよく働くの。」

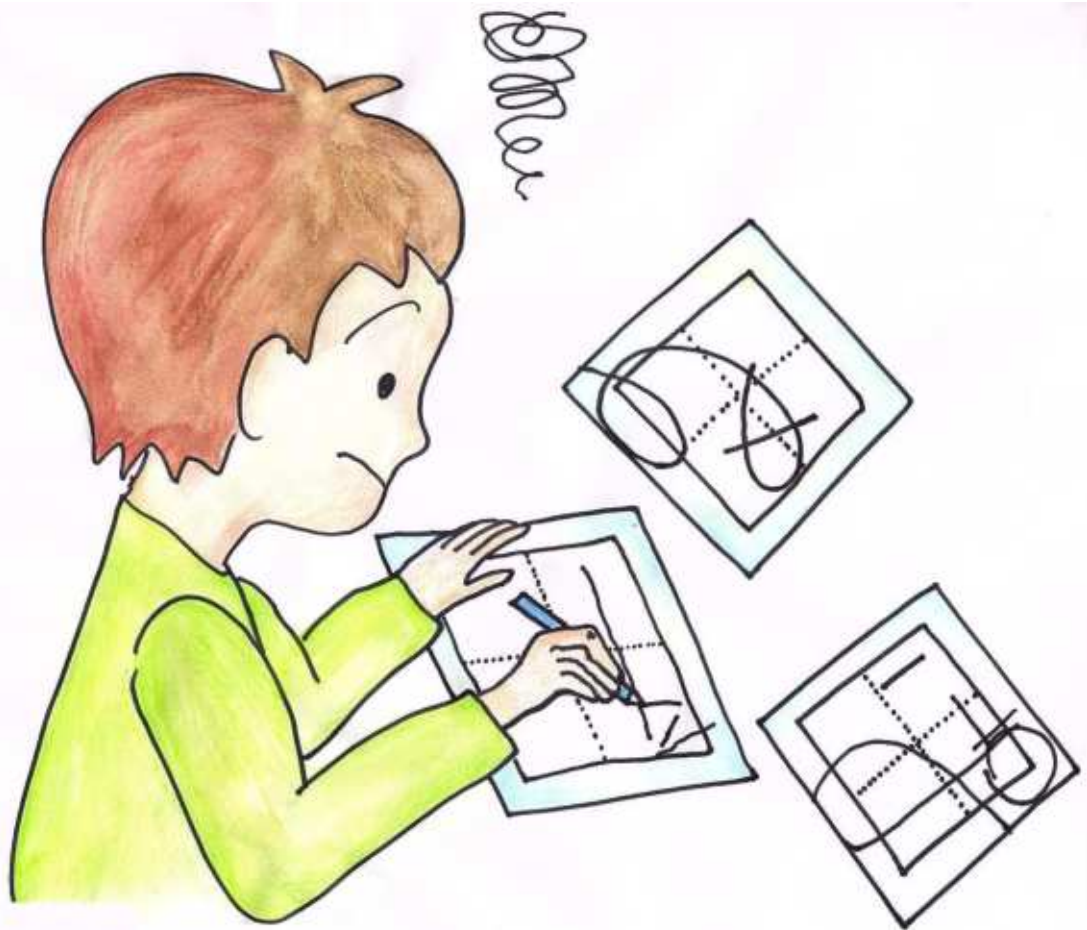
「たたみのほうが落ち着いて勉強できる。」

「やっぱり机と椅子がいい!」

自分が一番集中しやすいスタイルはどれかな?

令和の時代は自分に合った学びのスタイルが、

自分で選べる時代になってほしいな。



じ じょうず か  
字は上手に書けないとダメ？

がんばれば何なんでもみんなおなと同じようにできるはず？

まいにちえ じ れんしゅう じょうず か  
毎日家で字の練習をしてるのに上手に書けない。

ぼく おも なに いや  
僕なんかどうせダメなんだって思うと、何もかも嫌になっちゃう。

じぶん か じ よ こま  
自分が書いた字が読めないのは困るよね。

でも、みんなが将来お習字しょうらい しゅうじ せんせいの先生になるわけじゃないよね。

みんなそれぞれ目標もくひょう ちがは違ってもいいよね。





だれ <sup>とくい</sup> 誰にでも得意なことや <sup>にがて</sup> 苦手なことはあるよね。

<sup>にがて</sup> 苦手なことを <sup>いっしょうけんめいれんしゅう</sup> 一生懸命練習するの <sup>ひと</sup> も一つの <sup>ほうほう</sup> 方法だね。

<sup>にがて</sup> 苦手をカバーできる <sup>かんが</sup> アイディアを <sup>ほうほう</sup> 考えるのもいい方法だよ。

<sup>もじ</sup> 文字 <sup>か</sup> を書くことは <sup>じかん</sup> すごく時間がかかるけど、

「<sup>もじ</sup> パソコンで文字 <sup>にゅうりよく</sup> 入力すると、<sup>ぶんしょう</sup> すらすら文章 <sup>つく</sup> が作れるよ。」

ノート <sup>うつ</sup> を写すだけで <sup>じかん</sup> 時間がなくなっちゃうけど、

「<sup>こくばん</sup> カメラで黒板の <sup>しゃしん</sup> 写真をとると <sup>じかん</sup> 時間に <sup>ま</sup> 間に <sup>あ</sup> 合うようになったよ。」

いっかい き おぼ  
一回聞いただけじゃ覚えられないから、

「ボイスレコーダーで聞き直しができるように工夫しているよ。」

どうぐ つか べんきょう  
道具を使うことで、ストレスなく勉強できるようにすることを、

ごうりてきはいりよ い  
「合理的配慮」っていうよ。

め わる ひと めがね つか み  
目が悪い人が眼鏡を使って見えやすくするように、

じ か くろう ひと どうぐ つか くふう ほうほう  
字を書くことに苦勞する人は道具を使って工夫する方法があるよ。

じ か ほう  
字は、きたないよりはきれいに書けた方がいいかもしれない。

でも、どうしたいか決めるのは自分。

まわ ひと おも  
周りの人がアドバイスをしてくれると思う。

ひと そうだん かんが おも  
いろんな人に相談しながら考えるといいと思う。

でも、どんな自分になりたいか、

さいご じぶん じぶん き だいじ  
最後は自分のことは自分で決めることが大事だよ。



たいよう ひかり いた  
太陽の光が痛いんだ。

こえ そと で  
セミの声がうるさくて外に出られない。

いた ふろ こわ  
シャワーが痛くてお風呂が怖い。

ばしょ おと  
ザワザワした場所の音がつらい。

みんなが普通ふつうにしていることでも、泣きそうなくらいすごくつらくて、

けっこう困こまっているんだ。

どうすればいいかな？



<sup>なが</sup>長<sup>ふく</sup>そでの服やマスクを<sup>すこ</sup>すると<sup>らく</sup>少しだけ楽になったよ。

<sup>あめ</sup>雨<sup>ひ</sup>の日や<sup>ゆうがた</sup>夕方<sup>ほう</sup>の方が、<sup>そと</sup>外に<sup>で</sup>出かけやすいよ。

<sup>ふろ</sup>お風呂<sup>ゆ</sup>はかけ湯<sup>に</sup>しているよ。

<sup>みみせん</sup>耳栓やイヤーマフ、ヘッドホン<sup>あんしん</sup>をつけると安心<sup>で</sup>できるよ。

いろいろ<sup>くふう</sup>工夫<sup>やさ</sup>しているから<sup>みまも</sup>優しく見守<sup>って</sup>ね。



はな <sup>だ</sup> 話 <sup>と</sup> 出したら止められない。

ずーっ <sup>つづ</sup> としゃべり続けてしまうんだ。

あたま <sup>なか</sup> <sup>はな</sup> 頭の中が話したいことでいっぱいになってあふれてくるの。

このあふれる <sup>き</sup> <sup>も</sup> 気持ちをどうしたらいい？



あふれる<sup>きも</sup>気持ちをマンガにしてみたよ。

えが<sup>あいだ</sup>描いている間もずっと<sup>たの</sup>楽しかった。

みんなもおもしろいって<sup>い</sup>言ってくれたよ。

マンガ<sup>ず</sup>好きの<sup>ともだち</sup>友達もできたよ。

じぶん<sup>す</sup>自分の好きなことを表現して、それが<sup>みと</sup>認めてもらえる<sup>ば</sup>場があると、

じしん<sup>じしん</sup>自信になったよ。



なくしものが多い。<sup>おお</sup>

いつも「片付けなさい!」っておこられる。<sup>かたづ</sup>

いい考えを思いついてもすぐに忘れちゃう。<sup>かんが おも わす</sup>

いつもがんばろうって思っているのに、うまくいかないんだ。<sup>おも</sup>

やり方も教えてもらっているし、毎日いっぱい努力しているのに。<sup>かた おし まいにち どりよく</sup>

どうすればいいんだろう?



ともだち てっだ たの かんたん  
友達に「手伝って」って頼んだらすごく簡単だった!

ともだち あそ じかん たの  
おかげで友達と遊ぶ時間がいっぱいできて楽しかったよ!

ぼく あそ し  
僕、遊びのアイデアならいっぱい知ってるんだ!

にがて ひと てっだ  
苦手なことは、人に手伝ってもらったっていいじゃない。

ひとり かいけつ  
一人で解決できなくても、

じょうず ひと みかた ころづよ  
上手にサポートしてくれる人が味方になってくれると心強いな。





べんきょう <sup>わす</sup>  
勉強したことをすぐに忘れちゃう。

カタカナや <sup>かんじ おぼ</sup>漢字も覚えられない。

やる <sup>き</sup>気がないわけじゃないんだけど、どうしても <sup>おぼ</sup>覚えられないんだ。

「わざとやらないんじゃないか」ってみんなに <sup>せ</sup>責められて <sup>かな</sup>悲しいよ。

どうしたらいい？



ぼく <sup>す</sup> きょうりゅう  
僕の好きなものは恐竜。

だいす <sup>きょうりゅう</sup> <sup>つく</sup> <sup>きょうりゅう</sup> <sup>なまえ</sup> <sup>おぼ</sup>  
大好きな恐竜をたくさん作っていたら、恐竜の名前を覚えたよ。

<sup>ま</sup> <sup>ぜんぶおぼ</sup>  
いつの間にかカタカナも全部覚えていたよ。

<sup>す</sup> <sup>おぼ</sup>  
好きなことなら覚えられる。

<sup>す</sup>  
好きなことならけっこうがんばれるんだ。



がっこう なか  
学校の中でハダシでいるのは悪い子？

みんなとおなじじゃない人はダメな人？

ひと めいわく  
人に迷惑をかけなければ、

ぜんぶ みんなとおなじじゃなくてもいいんじゃないかな？



おとな ひと  
大人になってもハダシの人はいないよね。

がっこう こ でんしゃ の くつ  
学校でハダシのあの子ども電車で乗るときはちゃんと靴をはくんだって。

なに りゆう き  
「どうしてハダシでいるの?」「何か理由があるの?」って聞いてみて。

おも りゆう  
なるほどって思う理由があるかもしれない。

たが よ はな わ あ  
お互い良く話してみると、もっと分かり合えるよ。

わ あ きょうしつ いご ちよ  
分かり合えると、もっと教室の居心地が良くなるよ。

まった おな にんげん よ なか ひとり  
全く同じ人間なんてこの世の中に一人もいない。

あいて わ きも だいじ  
だから、相手を分かろうとする気持ちが大重要だよね。



ぼく  
僕のことなのに、みんなはぼくに聞かずに勝手に決めてしまうんだ。

ぼく し  
僕の知らないところで。

そんなの納得できないよ。



ぼく かって き  
僕の<sup>ぼく</sup>ことを勝手に<sup>かって</sup>決め<sup>き</sup>ないで!

ぼく き も き  
僕の<sup>ぼく</sup>気持ち<sup>きも</sup>も聞いて<sup>き</sup>ほしい!

ぼく いっしょ かんが  
僕と<sup>ぼく</sup>一緒に<sup>いっしょ</sup>考<sup>かんが</sup>えてほしい!

ぼく いっしょ そうだん  
僕は<sup>ぼく</sup>一緒に<sup>いっしょ</sup>相談<sup>そうだん</sup>にのってほしいんだ!



バカにされたり、冷たい言葉つめことばを言われたりすると、心こころがしぼんじゃう。

みんなもそうじゃない？

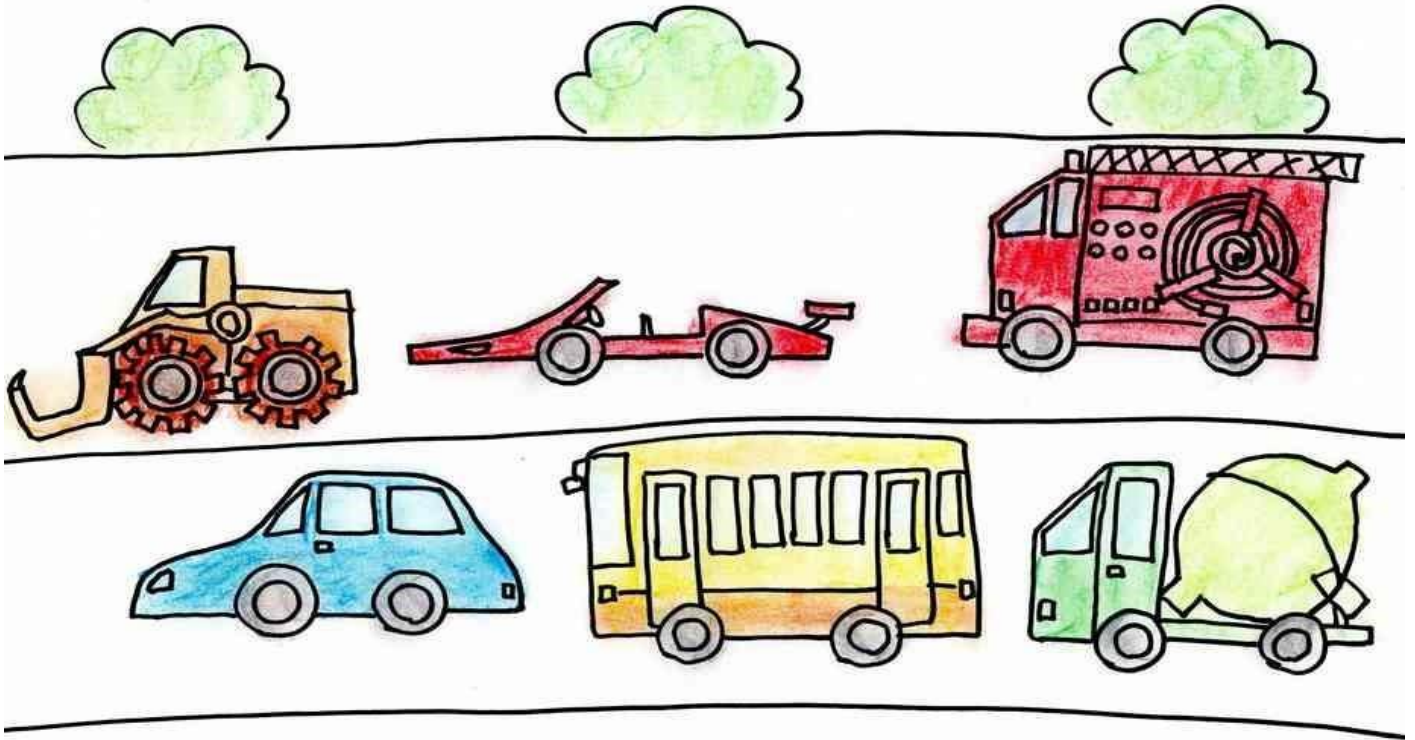


ちょっとみんなと<sup>ちが</sup>違うところがあっても、

みんながあたたかい<sup>め</sup>目<sup>み</sup>で見るととってもうれしい。

みんなもきっとそうだよね。





たとえばくるま車はなしの話。

世の中にはいろいろなタイプのくるま車がある。

いちばんおお多なかいのは？ そう、じょうようしゃ乗用車だね。

では、ぜんぶ全部のくるま車がじょうようしゃ乗用車になればいい？

レーシングカーは、はや速くはし走るのがとくい得意。

でも、おお大きなおと音を出しだちゃうこともある。

シヨベルカーは、ゆっくりしかはし走れない。

でも、ちからもとっても力持ち。

しょうぼうしゃ かじ だいかつやく  
消防車は、火事のときに大活躍。

でも、人をいっぱいのは乗せられない。

バスは、人をいっぱいの乗せられる。

でも、狭い道は通れない。

みんな、それぞれの場所で、それぞれ大事な役割があるよね。

くるま こうつう まも  
車は交通ルールを守れば、

おな どうろ ゆず あ はし  
同じ道路を譲り合って走っていいことになっているよ。

まえ  
前にショベルカーがいるとき、

うし き  
後ろから来たスポーツカーは、どうすればいい？

そうだね。お互いに相手を思いやる気持ちがあれば、

くるま はし  
どの車も走りやすくなるよね。



わたし おな  
私たちも同じ。

みんなそれぞれ、好きなことも得意なことも違うけれど、

おな きょうしつ す なかま  
同じ教室で過ごす仲間だよ。

たが みと あ いっしょ す なかま  
お互いを認め合って、一緒に過ごす仲間だよ。

とくべつしえん きょうしつ じょうようしゃ かいぞう  
とくべつしえん教室はショベルカーを乗用車に改造するところではないよ。

ショベルカーやスポーツカーの特徴を活かして生きていけるように、

せいちょう おうえん  
成長を応援するところだよ。

とくべつしえん<sup>きょうしつ</sup>教室は、楽しく勉強<sup>たの</sup>するところだよ。

だって、楽しい方ががんばれるよね。

楽しみながら、その人に合う<sup>ひと あ まな かた</sup>学び方で勉強<sup>べんきょう</sup>しているんだ。

とくべつしえん<sup>きょうしつ</sup>教室は、

自分が苦手な<sup>じぶん にがて</sup>ことにも、ちょっとがんばって取り組んだり、

自分が好きな<sup>じぶん す</sup>ことを、もっともっと得意<sup>とくい</sup>にしたり、

困<sup>こま</sup>っていることを先生<sup>せんせい</sup>やみんなと一緒に<sup>いっしょ</sup>相談<sup>そうだん</sup>しながら解決<sup>かいけつ</sup>するところ、

そして、自分らしい<sup>じぶん</sup>生き方を<sup>い</sup>考<sup>かた</sup>えるところだよ。

きょう えほん よ いっしょ かんが  
今日は、絵本<sup>えほん</sup>を読んで一緒に<sup>いっしょ</sup>考<sup>かんが</sup>えてくれてありがとう。

みんなが大切<sup>たいせつ</sup>にされ、みんなが安心<sup>あんしん</sup>できる場所<sup>ばしょ</sup>を、

いっしょ  
一緒<sup>いっしょ</sup>につくっていいこうね!



おしまい!

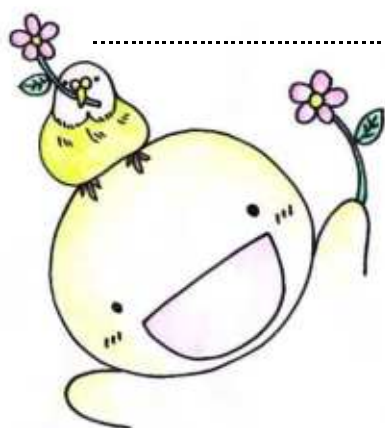
\*あなたは今のところがどんな場所になったらいいと思いますか？

.....

.....

.....

.....



\*思ったことや感じたことを伝え合いましょう。

.....

.....

.....

.....

とくべつしえん<sup>きょうしつ</sup>教室ってどんなところ？

発行年月日 2022年2月16日 初版

作・絵 山口 千尋

東京都杉並区立高井戸第四小学校

特別支援教室 たかし教室

TEL 03-5336-9522



とくべつしえん<sup>きょうしつ</sup>教室ってどんなところ？

小学校 年 組
なまえ